

戦争のあと

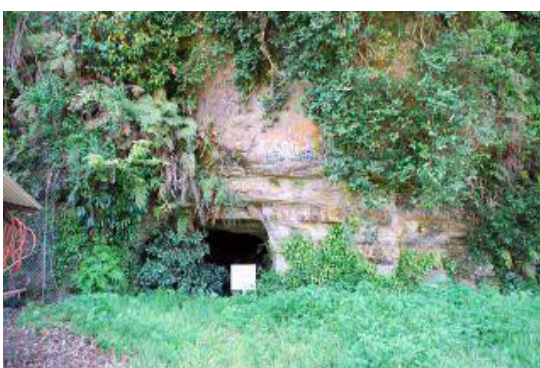
このページは、伊万里市歴史民俗資料館副館長の荒谷義樹先生のご協力で作成しました。



浦之崎には川南造船所の跡がありました。第二次世界大戦中、軍用の輸送船などを作っていました。特攻兵器の“回天”なども作っていたといわれています。そのため戦争末期には、米軍機の空襲を受けました。



建物は、いかにも廃墟という雰囲気がありましたが、老朽化がひどく、現在は取り壊されていて、造船所跡は残っていません。



左の写真は、浦之崎の防空壕の跡です。

右の写真の子どもたちが手に持っているのは、浦之崎に落とされた爆弾の先端部分です。

(危険ではありません。)